

## 基本情報

- ◆ 認定年度: 2019(令和元)年
- ◆ 設置時期: 2019(令和元)年9月
- ◆ 実施部局: iPS細胞研究所
- ◆ 相手方機関: グラッドストーン研究所
- ◆ 設置タイプ: アウトバウンド型
- ◆ 設置目的: 世界を先導するiPS細胞研究の更なる発展及び海外で活躍できる若手研究者の養成
- ◆ 設置場所: グラッドストーン研究所 (米国・サンフランシスコ)
- ◆ 活動内容: iPS細胞に関連する最先端研究を推進し、若手研究者の育成や留学生獲得を図る。

## 活動による大学全体への波及効果

- 世界を先導する最先端研究に携わることによる、研究者・学生への教育研究効果
- 部局の範囲を超えて、大学と拠点連携大学(UCSF)との国際共同研究などの新プログラムの開拓

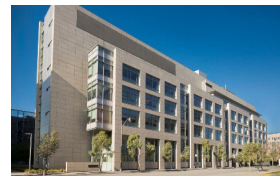
### 【2024年度】

- 近隣大学等の学生を対象としてインターンシップ教育を実施する。
- 他研究室や現地企業との共同研究を進展させ、多能性幹細胞に関連する機能への理解を深める。
- 産学へのiPS細胞技術のさらなる波及を図る。

## 活動概要



山中伸弥 (PI)



Shinya Yamanaka (PI)

GLADSTONE  
INSTITUTES

### ビジョン:

- ✓ グローバル人材の育成と、国を超えたボーダーレスイノベーションの促進

### 活動概要:

- ✓ 多能性幹細胞の増殖・分化におけるタンパク質翻訳制御機構に関する共同研究の実施
- ✓ 研究者・学生の国際交流
- ✓ 国際交流プログラムの実施(シンポジウム、ポスドクトレーニングプログラム)

### 運営体制:

- ✓ 部局で雇用した准教授をクロスアポイントメントにて拠点に常駐
- ✓ 部局で雇用した研究員を拠点に常駐させて運営

## 2023年度の主な活動実績

### ① 2023 CiRA International Symposiumにて講演

- 2023年11月、京都大学百周年時計台記念館で開催された本シンポジウムにおいて、当拠点の常駐教員が招聘ゲストとして「iPS Cell Research Center at Gladstone」のタイトルで講演を行い、本拠点での活動を紹介した。
- シンポジウムに参加した研究者・学生(約250名)、国内外より招聘された著名な研究者及び科学誌編集者など他の講演者(16名)及びポスター発表者(約60件)と、二日間にわたり意見交換し交流を深めた。



### ② 研究および人材育成環境をさらに充実

- 本拠点の研究をさらに加速させるため、研究員および研究補助員の充実を図った。
- 本拠点にてPhD取得後、ポスドク研究員として参画した研究員が、生殖医療を目指すベンチャー企業を米国で起業した。
- 関連する成果として、細胞間接着機能の低下が、ヒト多能性幹細胞における原腸陥入に類似した分化パターンの消失と始原生殖細胞様細胞への分化促進を引き起こすことを見出し、国際共著としてDevelopmental Cellに発表した。

(プレスリリース) <https://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/pressrelease/news/230809-110000.html>



### Developmental Cell

Loss of TJP1 disrupts gastrulation patterning and increases differentiation toward the germ cell lineage in human pluripotent stem cells